



# まいづる市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 165

令和元年(2019) 11月9日

- 平成30年度一般会計決算を認定
- 令和元年度一般会計補正予算を可決
- 「国民健康保険の国庫負担拡充と子どもに係る均等割額の負担軽減を求める意見書」を全員賛成で可決
- 意見交換会「市民と議会のわがまちトーク」を開催 延べ市民132人が参加

主 な 内 容	市民と議会のわがまちトークを開催	2
	9月定例会のあらまし	6
	常任委員会の審査報告	6
	各会派討論の内容	8
	議案の採決結果	10
	代表質問	12
	一般質問	14
	FMまいづるの放送予定等	19
	意見書	20
	政治家からの寄附禁止	20
	12月定例会予定	20
編集後記	20	

議会だよりはこのコードからご覧いただけます。



## 市民と議会のわがまちトーク



## 議員と語ろう わがまちトーク

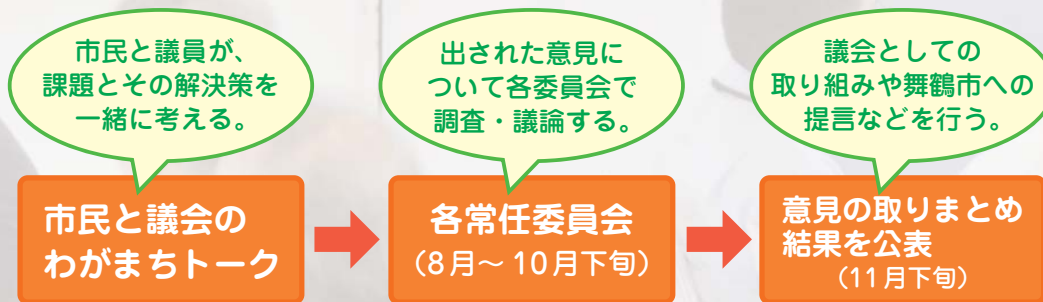
(「市民と議会のわがまちトーク」より)

# トーク」を開催しました

「市民と議会のわがまちトーク」は、市民の皆さまと議員で少人数のグループをつくり、テーマに関連する課題を抽出した上で、その解決策について意見交換を行うもので、舞鶴市議会としては初めてワークショップ形式で開催しました。

延べ132人の市民の皆さまとともに議論し、共有した内容については、各常任委員会で再度調査や議論を行い、下の図のように意見を整理しています。

その結果については、11月下旬に舞鶴市議会ホームページで公表しますので、ご覧ください。



## 産業建設委員会

## 東西市街地の浸水対策

8月3日(土) 午後

### 【出された課題】

- 排水ポンプ場設置後、増水時の運用等をしっかり検証することが大事
- 災害対策として必要なことを住民が行政に要望し続けることが大事
- 災害の仕組みの学習やボランティア参加などを通じて、市民の災害への理解をより深めるべき
- 低地への避難所設置や公共施設建設の見直し、避難経路の市民への周知が必要
- 被災時に活用できる土のうやプラスチック段ボール等の資材配布を充実させるべき
- 0mポンプ等、浸水対策として有効な新しい機器を研究し、導入すべき

など



各委員会の報告書についてはホームページにてご覧いただけます。



# 「市民と議会のわがまち」

## 4つの テーマ

- 8月3日(土) 午前 ● 「障害者支援について」 (商工観光センター)
- 8月3日(土) 午後 ● 「東西市街地の浸水対策」 (商工観光センター)
- 8月4日(日) 午前 ● 「自主防災力の向上について」 (西駅交流センター)
- 8月4日(日) 午後 ● 「これからの自治会活動とは？」 (西駅交流センター)

## グラドルール ※このルールのもとで活発な意見が交わされました！

- 積極的に聴く・書く・話す
- 否定・批判をしない
- 肩書きや立場を気にしない
- 皆さんの時間を大切に

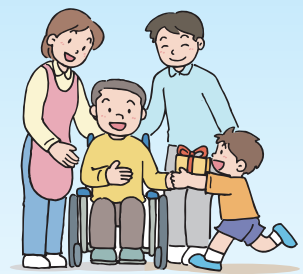
## 福祉健康委員会

## 障害者支援について

8月3日(土) 午前

### 【出された課題】

- 市役所に手話通訳者の配置が少ない。
- 施設窓口での障がい者に対する対応状況の改善
- 支援制度の狭間にいる人たちをどう支援するのか。
- 障がい者が地域で暮らせるために家族の意識改革が必要
- 災害時における障がい者への情報伝達方法について検討が必要
- 視覚障害者への支援者が少ない。



など



各委員会の報告書についてはホームページにてご覧いただけます。



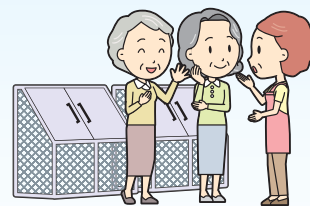
## 市民文教委員会

# これからの自治会活動とは？

8月4日(日) 午後

### 【出された課題】

- 各地区のアイデアや成功例などを共有する仕組みがない。
- 仕事をしながら自治会長をしているが、負担が大きい。
- 地域でリーダーシップをとれる人材の確保と育成が必要
- 少子高齢化で役員のなり手がいない。自治会の合併、広域連携を視野に入れた方がよい。
- 自治会への配布物の依頼が多い。
- 自治会での課題について相談をする窓口がわからない。
- ごみの分別収集等、新たな取り組みに対する行政の説明が不十分 など



各委員会の報告書についてはホームページにてご覧いただけます。



## 参加してみて



支援者として障がい者の親として整えてほしいことはたくさんある。よろしくお願ひしたい。

小学校区ごとに同様の意見交換会等を開催してほしい。

議会と市民が課題を共有することは何よりも大事

もっと問題点の解決方法を重点的に議論すべきである。

意見交換により、防災意識が高まった。

自主防災の重要性を改めて認識できた。

討論の結果がより良い方向へつながるよう願ひする。

議会報告、グループ討議ともに分かりやすくよかった。



総務消防委員会

自主防災力の向上について

8月4日(日) 午前

【出された課題】

- 避難に対する危機感が薄く、また、実際に利用できる避難計画がない。
- 自治会が防災に関心がない。
- 自主防災組織が形骸化している。
- 避難所の見直しや経路の安全確認が必要
- 近所の一時避難所が必要
- 小学生等子供への防災教育等が必要
- 隣近所のコミュニティの充実を図る必要がある。
- 雨風の音で防災無線の音が打ち消され、大切な情報が伝わらない。



など



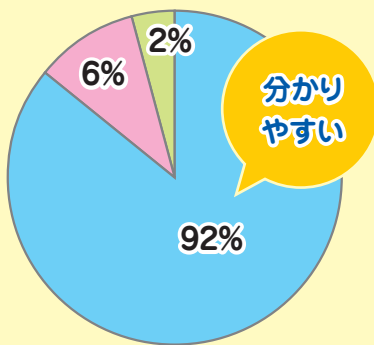
各委員会の報告書についてはホームページにてご覧いただけます。



参加者の声

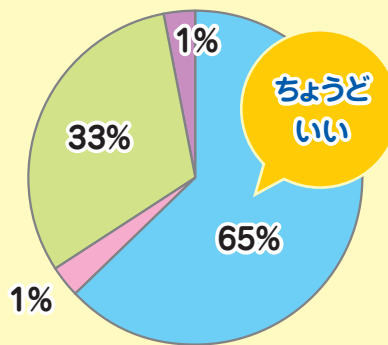
「市民と議会のわがまちトーク」に

グループ討議  
(意見交換) について



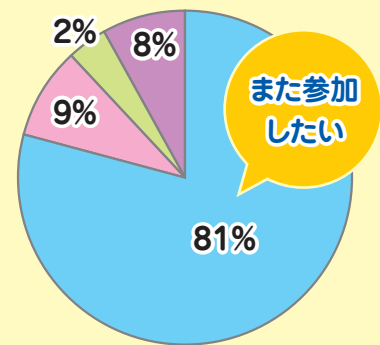
■ 分かりやすい  
■ 分かりにくい  
■ どちらでもない、無回答

時間について  
(意見交換60分)



■ ちょうどいい  
■ 長かった  
■ 短かった  
■ どちらでもない、無回答

また参加  
したいですか?



■ 参加したい  
■ 参加したくない  
■ その他  
■ 無回答

# 9月定例会のあらまし

●平成29年秋の台風や平成30年7月豪雨による災害復旧費が増額した平成30年度一般会計決算を認定

●国に採択された「SDGs<sup>※</sup>モデル事業」の予算による持続可能で便利な田舎暮らしの実現に必要な取り組みなど2億3,397万円の令和元年度一般会計補正予算を可決

●浄水場等の操業と窓口業務等を民間委託する債務負担行為を含む令和元年度水道事業会計補正予算を可決

令和元年舞鶴市議会9月定例会は9月3日に開会。10月7日までの35日間開催し、市長から提案された平成30年度の一般会計等の決算、条例制定などの26議案を審議し、議員提案の意見書等、いずれも原案のとおり認定・可決しました。

## 予算決算委員会の主な審査内容

### 令和元年度一般会計補正予算

舞鶴版Society5.0<sup>※</sup>実装推進事業費

**Q** 防災・減災に向けた水位計等の設置場所の選定方法は。

**A** 過去に浸水被害があった河川に設置することとし、水位計の設置場所については連携事業者と分担して決定する。

### 令和元年度水道事業会計補正予算

**Q** 水道事業の民間委託について、市民の意見を十分に聞かずに進めているのではないかと委託による経費削減額の見込みはどうなっているか。

**A** 市民の代表である市議会に提案した議案を審議していただくことが、市民の意見を聞くことになるものと考えている。業者選定は

これからプロポーザル方式にて行う予定であるため、業者提案前の現在では、削減額の見込は立てられないが、現在かかっている経費を委託費の上限額とするので、現状より上がることはない。

**Q** 他市と共同で水道事業を行った場合の統一料金の導入についてはどのように考えているか。

**A** 料金の統一については全く考えていない。

### 令和元年度下水道事業会計補正予算

**Q** 汚泥処理設備第2系統の想定以上の劣化とは、具体的にどのようなものか。

**A** 第1系統の機械の更新作業に当たり、機械内部の状態を確認したところ、第2系統についても汚泥をかき寄せる機械の主要な部品について、老朽化が進

んでいることが判明したものの。

### 平成30年度一般会計決算

農福連携推進事業費

**Q** 農福連携推進事業費の具体的な内容は。

**A** ひきこもり等生活困窮者を対象に、神崎での落花生栽培に6人ふるるファームでの農作業補助に7人が参加。

学校管理費

**Q** 予算執行率が低いと感じる。事業実績報告書に記載以外の要因はあるのか。

**A** 大きな要因は電気代である。市全体の電気料の見直しを図る中で、新電力なども含めた入札方式により、適正化に向けた取り組みを進めた結果、契約金額が大きく低下したことによるもの。

万願寺甘とう振興事業費

**Q** 万願寺甘とうの出荷数量が減少している

にもかかわらず、販売額が増加している理由はあるか。

**A** 30年度は災害の影響により出荷数量が減少したが、ブランド化等での単価の上昇により販売額は増加している。

浸水対策事業費

**Q** 東地区浸水調査業務委託の実績は。

**A** 東地区で浸水被害のあった地域の地盤や排水管の高さなどの調査を行った。今後、浸水のメカニズムの解析を行い、内水対策基本計画の策定を進めていく。



予算決算委員会の審査の様子

※SDGs … 2015年9月の国連サミットで採択された2030年までを期限とする国際目標。持続可能な社会実現のため、産業やエネルギー、福祉、教育、平和などそれぞれの分野で達成すべき17の目標が掲げられている。

本会議において付託された議案は、総務消防委員会4件、産業建設委員会4件、市民文教委員会3件、予算決算委員会15件であり、それぞれの委員会で審査しました。

## 常任委員会の審査報告

### 庁舎管理経費

**Q** 29年度に比べ、庁舎光熱水費が減少している要因は。

**A** 29年度および30年度の庁舎改修に伴う省エネ効果に加え、電力契約の入札に伴う減少が主なもの。

### 備蓄物資整備事業費

**Q** 30年度の購入により、備蓄物資は充足したか。

**A** 備蓄物資のうち、食糧の充足率は87・3パーセントとなっており、30年度から3カ年かけて充足させる予定である。

### 令和元年度特別会計

#### 国民健康保険事業会計

**Q** 保険料滞納による差し押さえの件数・金額は。

**A** 64件、1093万4869円であった。

### 後期高齢者医療事業会計

**Q** 不能欠損の件数と主な要因は。

**A** 21件、30万7504円、生活困窮や所在不明者等によるもの。

### 病院事業会計

**Q** 市民病院の療養病棟は足りているのか。

**A** 満床となった日が8月は18日あり、病床利用率が高い水準で推移している。医療ケアチームが、個々の患者の状態に合わせた退院支援を行うとともに、入院希望者のスムーズな受け入れも課題である。地域の医療ニーズに一層応えるべく病院運営に取り組んでいく。

## 常任委員会の審査報告

### 市民文教委員会の主な審査内容

舞鶴市子ども子育て支援法に基づく過料に関する条例の一部改正

子育てのための施設等利用給付の制度が創設されたことに伴い、正当な理由なしに、給付に対して市が求める報告等をせずに、または、虚偽の報告などした者に対して過料を科すものであり、対象範囲を拡大するもの。

**Q** 虚偽の申請をする保護者に対し、そこに至るまでの状況把握については。

**A** 想定されるのは保育の必要性などに関してであるが、保護者からその認定申請の段階で、職員が詳しく話を聞くなど、確認をしながら事務を進めていく。適正な手続き・処理をしていくための抑止的

な部分で改正を行うもの。

### 産業建設委員会の主な審査内容

舞鶴市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について

市民の皆さまに将来にわたり、安心して水道水を利用いただくため、また、安定した水道事業の運営を行うべく、水道料金の改正を行うもの。

**Q** 舞鶴市上下水道事業審議会の資料の中に、4年後、8年後に改めて料金改定が必要とあるが、改定をする予定であるのか？

**A** 4年後、8年後の料金改定の必要性について試算し、提示したもの。今後、料金の改定率を抑えられるよう、業務の民間委託や広域化も踏まえて経費削減を図る。

### 総務消防委員会の主な審査内容

#### 消防団条例の一部改正

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための法律が制定されたことを受け、消防団員の欠格事項から成年被後見人等を削る等所要の改正を行うもの。

アメリカ合衆国軍隊の構成員等が所有する軽自動車等に対する軽自動車税の賦課徴収の特例に関する条例の一部改正

地方税法の改正に伴い、「軽自動車税」を「軽自動車税の種別割」とする文言整理を行うもの。

**Q** 現在の特例の適用状況は。

**A** 軽自動車1台の適用がある。



常任委員会の審査の様子

討 論

令和元年10月7日の最終本会議において提案された議案に対して討論をしました。

安定的かつ計画的な  
病院事業会計を

討論

会派に属しない議員  
田村 優樹



今定例会に提案された全議案のうち、第26号議案に反対、その他の議案には賛成の立場で討論する。病院事業会計の収支は、当然のことながら医業収益と医業損益のバランスで考えるものであり、医業外の会計処理で収支をよく見せる決算では、病院経営の本来の姿が分からなくなる危険性を含む。市では、これまで経費の縮減で収支の改善を図り補助金の削減に努め、病床の稼働率を上げる努力が見られるが、運営上の赤字圧縮は現



舞鶴市民病院

時点が限界ではないかと疑念を持つ。また、建設費等の企業債の返済、令和2年度からは普通地方交付税の減額など資金繰りは困難となるが、今後の具体的な収支試算、しっかりとした将来見通しは立たず、安定的かつ計画的な病院事業会計とは認めがたい。さらには、舞鶴市全体の財政が急速に弾力性を失う中、市民病院を支えていくために必要な支援は今後どうなるのか、根拠に基づき説明がなされなければ認定できない。

経営を持続させるため  
痛みを伴う料金改定

討論

会派に属しない議員  
嶋田 秋津



今定例会に上程された全議案に賛成する。第36号議案ならびに第37号議案は、水道料金ならびに下水道使用料金を現行から値上げするもので、人口減少や水需要の低下により収入が減少していることが大きな要因である。このたびの値上げの目的は、借金を次の世代に先送りしないこと、生活の基盤であるライフラインを安心・安全な施設のまま後世に残すためであり、将来を見据えた苦渋の決断と認識する。しかし



戦前からの管も残っており、布設替えが必要

ながら、市民生活を直撃する値上げは、暮らしの負担になることを真摯に受け止め、今後は説明責任を果たし、経営を改善されたい。第19号議案は、直営で行っている水道施設の運転・維持管理や窓口・料金徴収などの営業部門を民間に委託するための債務負担行為を設定するもので、経営悪化が懸念される中、事務の効率化や費用削減を目指すと同時に、現在よりも低コストかつ質の高いサービスを提供するものであり、賛成する。

トップダウンの手法は  
無駄が省けない

討論

日本共産党議員団  
小杉 悦子



26議案のうち9議案に反対、17議案に賛成。30年度一般会計決算は、各局に上限枠を設け、各種団体の補助金を一律10%カット、社会保障や行政サービスを切り捨てることを大胆に進めたもの。歳出をどのように削るかは現場から見直すことだ。トップダウンの方法では、無駄を掃することもできない。国民健康保険と介護保険の事業では、市独自の負担軽減措置を求める。補正予算の「舞鶴版 Society5.0実装推進事業」は、行政の膨大な情報を企業のもうけつなげていく仕掛けづ

くりと考える。水道事業会計補正予算は、水道の広域化、民間委託化の第一歩を踏み出すものだ。本市は京都府北部でその推進役を果たしている。議決前に、水道事業が抱えている課題、財政状況など市民理解を深めることが重要なことから修正案に賛成する。水道事業給水条例の一部改正は、上下水道の料金値上げは、市民負担が増えるため、反対する。



命の水は市民総意で運営を



令和元年10月7日の最終本会議において提案された議案に対して討論をしました。

討 論

財政の健全性を維持した予算執行

討論



公明党議員団  
杉島久敏

全議案に賛成する。

平成30年度は持続可能なまちづくりの実現に向けた総仕上げの年度として、子育て環境の充実や行財政改革の推進などに取り組み、財源確保に努めていただいた結果、実質収支額は黒字であり、財政の健全性を維持した予算執行となつている。また、経常収支比率も改善している点を評価し、平成30年度一般会計決算を承認する。

令和元年度水道事業会計補正予算(第1号)は、より安定的

で効率的な操業を確保するため、運転管理および施設維持管理業務の民間委託、窓口業務等の民間委託に対し、債務負担行為の設定を行うものである。厳しくなる財源の確保に対し、民間委託による効率化とコスト削減は必要とされるところであり、賛成する。しかしながら、修正案については、議会において審議を尽くす機会もあつたこと。今後において説明責任は果たしていただけると認識していることから、審議の引き延ばしは必要ないと考える。

災害対応の配分と黒字決算を評価する

討論



新政クラブ議員団  
眞下降史

本定例会に提案された26件の全議案に賛成する。平成30年度一般会計決算の認定について、前年の台風被害や30年7月豪雨の影響で、災害復旧費に多額の予算が投じられた年度となつた。歳入においては固定資産税のうち、償却資産分が減少するなど市税の減少が続いている。そうした中、地方交付税や地方消費税交付金の増加により財源の確保をされ、実質収支額が黒字になつたことを高く評価する。続いて令和元年

度一般会計補正予算について、先般国の採択による「SDGsモデル事業」に選定されたことで、新たな財源の確保によって新規事業が多く提案されており、便利な田舎暮らしの実現に向け、事業の展開を期待している。令和元年度水道事業会計補正予算について、浄水場等の操業と窓口業務等を民間委託することで、厳しい経営状況の中で、安心・安全な水をできるだけ安価な価格で、安定的に供給することにつながると判断し賛成とする。

水道事業会計決算では、水道施設が経年劣化により更新時期を迎え、営業収益がマイナスとなるなど厳しい経営状況となつている。そのため水道事業の見直しは喫緊の課題となつている。そのような中、水道事業会計補正予算では、今後の事

規律ある財政運営を評価

討論



創政クラブ議員団  
山本治兵衛

全議案に賛成する。

平成30年度一般会計決算では、経常収支比率が2・3%改善し、3757万円の黒字となつた。予算編成に当たっては、不用額の発生や基金の繰り入れを抑制し、市債の発行を抑えるなど規律ある財政運営を評価する。

水道事業会計決算では、水道施設が経年劣化により更新時期を迎え、営業収益がマイナスとなるなど厳しい経営状況となつている。そのため水道事業の見直しは喫緊の課題となつている。そのような中、水道事業会計補正予算では、今後の事

業形態として業務の民間委託化などを進める債務負担行為を設定するものであるが、市民の安心・安全な水道水の供給をより安定して提供できる体制を構築されるものとして賛成する。この補正予算に関わり市民への十分な説明や慎重な審議を求めるための修正案に対しては、今定例会の委員会で慎重に議論されたい上、審議は十分尽くされ結論に至つていくことから反対する。



老朽化した水道管の敷設替整備



市民の安全を確保するための災害復旧



規律ある財政を維持

9月3日および10月7日の本会議での議案採決の結果は次のとおりです。この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。この結果は、舞鶴市のホームページでも公表しております。なお、令和元年度一般会計補正予算(第3号)については、9月3日に議決しました。



### 全会一致で可決した条例議案

- 市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について
- 消防団条例の一部を改正する条例制定について
- 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 印鑑条例の一部を改正する条例制定について
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 子ども・子育て支援法に基づく過料に関する条例の一部を改正する条例制定について

### 全会一致で可決したその他の議案

- 市道路線の認定について
- 財産の取得について

### 全会一致で可決した議員提出議案

- 国民健康保険の国庫負担拡充と子どもに係る均等割額の負担軽減を求める意見書

【議決結果】可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、可認…認定及び可決、採…採択、不…不採択  
 【賛否】○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

田畑篤子	仲井玲子	野瀬貴則	眞下隆史	水嶋一明	伊藤清美	尾関善之	川口孝文	肝付隆治	高橋秀策	谷川眞司	山本治兵衛	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	石束悦子	伊田悦子	小杉悦子	小西洋一	鴨田秋津	田村優樹	西村正之	議決をした日
新政	新政	新政	新政	新政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	共産	無党派	無党派	無党派	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	10月7日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	10月7日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	10月7日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	10月7日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	10月7日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	10月7日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	10月7日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	10月7日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	10月7日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	10月7日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	10月7日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	10月7日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	10月7日
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	10月7日
×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	10月7日

☆舞鶴市議会の議員定数は26人です。

# 議案の採決結果

(令和元年9月定例会) 会期:9月3日~10月7日

## 全会一致で認定・可決した予算・決算議案

- 令和元年度一般会計補正予算(第3号)
- 令和元年度下水道事業会計補正予算(第1号)
- 令和元年度国民健康保険事業会計補正予算(第1号)
- 令和元年度介護保険事業会計補正予算(第1号)
- 平成30年度水道事業会計の決算の認定及び利益の処分について
- 平成30年度下水道事業会計の決算の認定及び利益の処分について
- 平成30年度貯木事業会計決算の認定について
- 平成30年度駐車場事業会計決算の認定について



## 賛否が分かれた議案等

議員名簿等(会派内は五十音順)		出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権	議決結果	今西	上野	鯛
								克己	修身	慶一
議案名等								新政	新政	新政
市長提出議案	令和元年度一般会計補正予算(第4号)	26	25	21	4	0	可	○	○	○
	令和元年度水道事業会計補正予算(第1号)	26	25	21	4	0	可	○	○	○
	平成30年度一般会計決算の認定について	26	25	21	4	0	認	○	○	○
	平成30年度病院事業会計決算の認定について	26	25	24	1	0	認	○	○	○
	平成30年度国民健康保険事業会計決算の認定について	26	25	21	4	0	認	○	○	○
	平成30年度介護保険事業会計決算の認定について	26	25	21	4	0	認	○	○	○
	平成30年度後期高齢者医療事業会計決算の認定について	26	25	21	4	0	認	○	○	○
	アメリカ合衆国軍隊の構成員等が所有する軽自動車等に対する軽自動車税の賦課徴収の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について	26	25	21	4	0	可	○	○	○
	水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について	26	25	21	4	0	可	○	○	○
	下水道使用料条例の一部を改正する条例制定について	26	25	21	4	0	可	○	○	○
請願	運転免許証自主返納者に対する施策に関する請願	26	25	4	21	0	不	×	×	×
動議	令和元年度水道事業会計補正予算(第1号)に対する修正動議	26	25	5	20	0	否	×	×	×

令和元年9月13日に本会議を開き、各会派が代表質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

代表質問

令和元年 舞鶴市議会9月定例会代表質問

令和元年9月13日

順番	会派名及び氏名	質問事項
1	日本共産党議員団 伊田 悦子	1 市長のコラムについて
		2 舞鶴版行財政改革について
		3 消費税増税と市民生活について
2	新政クラブ議員団 鯛 慶一	1 舞鶴版SDGsについて
		2 由良川緊急治水対策について
		3 舞鶴産お茶の振興について
		4 本市の財政運営について
		5 エネルギー施策について
3	公明党議員団 小谷 繁雄	1 SDGsの取り組みについて
		2 災害対応について
4	創政クラブ議員団 伊藤 清美	1 行財政運営について
		2 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について
		3 京都舞鶴港の振興について
		4 ウズベキスタン共和国との交流について

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。

※代表質問については、質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める方式のみとなっています。



**質問** 広報まいづる5月号掲載の市長コラムは、民主主義の根幹に関わり看過できない記事は「議会の一般論を述べただけ」としているが、その域を超えている。「少数議員団の公約は全く実現不可能」と断定しており問題がある。これでは、少数意見は尊重されないと受け取れる。記事の撤回と謝罪を求めたいかがが。

**答弁** 議論を尽くしてもなお意見が分かれるときは、意思決定の最終手段として、多数派の意見が採用されるという、議会制民主主義の基本を述べたもので、指摘には当たらないので、謝罪や撤回する考えはない。

代表質問  
**Q** 民主主義が問われた市長コラムは撤回を  
**A** 撤回・謝罪の考えはない



日本共産党議員団  
伊田 悦子

**質問** 行財政改革の名のもと、公共施設使料・利用料などを値上げされた。自治体運営に経営感覚を持ち込み、自治体を「稼ぐ」組織に変質させたと感じるいかがが。

**答弁** 適正な利用者負担による持続可能な行政運営が目的。改定から2年経過した時点で、状況を踏まえ検証し必要な見直しを行う。

**質問** 経営感覚の市政運営では  
**A** 目的は持続可能な行政運営



市民主役のまちづくりを

令和元年9月13日に本会議を開き、各会派が代表質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

## 代表質問

代表質問

**Q** SDGs 未来都市  
選定された取り組みは  
未来に向けた  
実証実験に取り組む

**A**



新政クラブ議員団  
鯛 慶一

**質問** 本年7月、舞鶴市はSDGs未来都市市およびモデル事業に選定された。第7次舞鶴市総合計画の将来像「便利な田舎暮らし」の実現を基にした計画が選定されたことは大変誇らしく、市議会としてもしっかりと取り組んでいくことが重要と考える。Society5.0との連携により都会にない豊かな自然や歴史・文化を最大限に生かしつつAIやICT等の先進技術を積極的に導入。日常生活や都市機能で効率性や利便性が向上し、まちの持続可能性を高めると述べられているが、どのような取り組みをされるかを問う。

機関をはじめ、各種団体との連携の中でコワーキングスペースでの新たな交流やビジネスモデルの創出、地元交通事業者と連携する移動マッチングシステムの導入、新たな防災の構築など、未来に向けた実証実験に取り組むことにより持続可能な社会の構築につなげる。

**答弁** 専門的な知見や人材等を有する教育



コワーキングスペースを活用

代表質問

**Q** 本市における  
SDGsの取り組みは  
「便利な田舎暮らし」の  
実現に取り組む

**A**



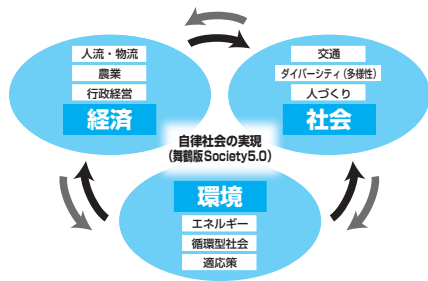
公明党議員団  
小谷 繁雄

**質問** 国連で採択されたSDGsは、持続可能な開発目標として誰ひとり取り残さないとの理念を掲げ、貧困や格差、気候変動等の課題解決に向け、2030年末の達成を目指す取り組みである。本市として、持続可能な社会の実現に向けてどのような計画と体制で推進するのか。

また、便利な田舎暮らしを実現する取り組みが、本年、国からSDGsモデル事業に選定され、支援を受けるが、その効果と市民生活に与える影響について問う。

また、豊かな自然や歴史・文化を生かし、民間企業や教育機関との連携やAI・IoT等先進技術の導入を促進する。また、庁内約20課40人体制の推進本部を設置した。国の補助金を活用し、産官学によるICTを活用した防災・減災システムの導入や共助による移動手段導入の実証実験事業等を展開し、市民生活の利便性の向上を図る。

**答弁** 2030年までに、未来型の便利な田舎暮らしを見据え、本市



SDGsの取り組みで本市の魅力を最大限に

代表質問

**Q** 今後の予算措置の  
見解は

**A** 効果的、戦略的な  
財政運営に取り組む



創政クラブ議員団  
伊藤 清美

**質問** 少子高齢化、人口減少が続く中、社会保障費の占める割合が年々増加しており、土木費は抑制傾向にある。今後、公共施設等の長寿命化に伴うインフラ整備はもとより、防災、減災対策を目的とした予算措置も重要と考えるが、その見解について問う。

**答弁** 予算編成において、収入の身の丈にあわせ、与えられた財源で最大の効果を

道路、橋梁などの社会基盤や公共施設等の長寿命化対策、度重なる災害被害に対応した防災・減災対策など行政課題は多種多様化しており楽観できる状況ではないと認識している。未来に向けて持続的に発展するために、枠配分方式により必要な財源はしっかりと確保するとともに、効果的・戦略的な財政運営に取り組む。

市税が減少する中、少子高齢化、医療、介護等の増加に加え、



安全・安心な防災・減災対策が重要

令和元年9月17日、18日に本会議を開き、14人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

## 一般質問

## 令和元年 舞鶴市議会9月定例会一般質問

令和元年9月17日、18日

順番	質問方式	氏名	質問事項
1	一問一答	肝付 隆治	1 持続可能なまちづくりへの取り組みについて
			2 舞鶴市の未来都市を担う子供たちの教育について
2	一括	杉島 久敏	1 在宅医療・介護連携の推進について
			2 液体ミルクの備蓄について
3	一問一答	野瀬 貴則	1 市民の求める情報の提供について
			2 物品・備品の有効活用と市民サービスの向上について
4	一問一答	小西 洋一	1 本市の上下水道事業について
			2 障がい者スポーツの振興について
5	一括	田村 優樹	1 いじめについて
			2 学校教育における校則について
			3 言語教育について
			4 待機児童の現状について
			5 舞鶴球場の整備について
6	一括	高橋 秀策	1 水道ビジョンについて
			2 市の借地について
			3 教育について
7	一問一答	松田 弘幸	1 原子力防災について
			2 婚活支援について
8	一問一答	上野 修身	1 舞鶴市の消防について
			2 有害鳥獣について
9	2分割	石束 悦子	1 不燃ごみ7種9分別収集について
			2 元気な農林業の振興について
			3 自校方式の中学校給食について
10	一括	仲井 玲子	1 舞鶴版 Society5.0 for SDGsについて
			2 音楽のまち舞鶴としてのまちづくりについて
11	一問一答	小杉 悦子	1 喜多地区のバイオマス発電所建設計画にかかわる市の対応と説明責任について
			2 安定ヨウ素剤の事前配布について
			3 財政運営について
12	一括	今西 克己	1 舞鶴港におけるLNG基地の受け入れとガスパイプラインについて
			2 府庁組織等の再編について
13	一問一答	田畑 篤子	1 子育て支援について
			2 高齢者支援について
14	一問一答	眞下 隆史	1 ウズベキスタン市民応援訪問団を経て今後の取り組みについて

※一 括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式

※2 分 割…質問項目を分野ごとに2回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式

※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。



令和元年9月17日、18日に本会議を開き、14人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

## 一般質問



総合的な学習で地域の課題を考える

**質問** 市は持続可能なまちづくりを推進しているが、学習指導要領には持続可能な社会の創り手を育成するという理念が示されている。このためには主体性をもって自分自身の課題・地域の課題に取り組む姿勢を身につけさせる教育が必要と思うが市の見解を問う。

**答弁** 「多面的・総合的に考える力」「他者と協力する力」「進んで参加する態度」などを育成するため、主

**答弁** 現段階において小中一貫教育、コミュニティスクールの推進を最優先課題としており、加盟校の実践成果等を検証した上で、今後検討したい。

**Q** 未来を担う子どもたちの学校教育は  
**A** 主体的・協働的学習に授業改善



創政クラブ議員団  
肝付 隆 治

**質問** 主体的・対話的で深い学びにつながるグループ活動や体験的な活動を取り入れ、主体的・協働的に学べる学習になるよう授業改善を図る。

**Q** ユネスコスクールへ加盟を  
**A** 実践成果を検証し今後検討

**質問** ユネスコスクールは、持続可能な開発のための教育(ESD)の推進拠点として持続可能な社会の創り手教育に成果を上げているが加盟を検討すべきでは。

**Q** 災害時備蓄品として液体ミルクの導入は  
**A** 粉ミルクの更新時期を見据え検討



公明党議員団  
杉島 久 敏

**質問** 液体ミルクは本年3月に国内での製造、販売が開始された。災害時の備蓄物資、救済物資としての有効性が認められたことにより各自治体で導入の拡大が見られる。衛生面と安全面については、世界的な機関から推奨されている。最終的には保存期間、価格を考慮しなければならぬが、浸水や停電などの災害により清潔な飲料水の確保が困難な場合を想定し、液体ミルク導入の必要性をどう考えているのかを問う。

**答弁** 厚生労働省令によって、衛生面と安全面の品質基準は明



店頭販売が開始された乳児用液体ミルク

確になっている。保存期間については、「常温で1年保存」の製品も販売されているが、導入コストは依然、粉ミルクと比較して2〜4倍と割高である。しかし、導入の時期は、現在備蓄している粉ミルクの更新時期を見据え、一定量は、液体ミルクへの置き換えを検討する考えである。また今後、市民への普及啓発に努めていく。

**Q** 備品を有効活用し市民サービス向上を  
**A** 貸し出し可能な備品の周知に努める



新政クラブ議員団  
野瀬 貴 則

**質問** 本市においては効果的な市政運営のために税金により導入した備品が多数あるが、市民に貸し出しを行っているものはあるか。また本市が持つ備品を有効活用し、その数や種類を増やし、自治会やサークルなどの地域コミュニティの活動を支援すべきであると考えるが、見解を問う。

**答弁** 現在は蜂の巣駆除の防護服、側溝の蓋を持ち上げる器具、火ばさみ、AED、消毒用噴霧器、啓発用D



貸し出しの希望がある竹粉砕機

V D、車いすなどの9品目を貸し出している。新たな物品等の貸し出しについては、各担当部署においてよく検討する。

**質問** 授乳やおむつ交換ができるスペースがない施設や、屋外イベントなどで子育て家族が安心して過ごせるよう、持ち運んで設置できる「移動式赤ちゃん駅」の整備と、市民への貸し出しをしてはどうか。

**答弁** 保護者の方々がどの場所でも不便を感じ、必要とされているのか、今後状況把握に努める。

**Q** 移動式赤ちゃん駅の整備は  
**A** ニーズと状況把握に努める

一般質問

令和元年9月17日、18日に本会議を開き、14人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。



舞鶴のおいしい水

**Q** 来年度からの上下水道料金改定の根拠は後世に負担を先送りしないことが前提



日本共産党議員団 小西洋 一

**質問** 来年度から令和5年までの4年間に水道料金を4・8%、下水道料金を10・6%引き上げる提案だが、昨年度からの施設使用料や各種手数料の値上げの上に消費税増税の時期でもあり、市民生活への影響が大きい。その根拠を問う。

**Q** 競技用車いすの配置増を  
**A** ニーズを把握し検討したい

**答弁** サービスが365日24時間停止しないよう努め、後世に負担を先送りしないことを前提に費用削減を行い、不足する資産更新の資金は適切な料金設定により確保するとの上下水道事業審議会の答申の趣旨に基づき、改定額を決定した。

**Q** 入所待ちの現状と市民ニーズを問う  
**A** 入所待ちにも対応する



会派に所属しない議員 田村 優 樹

**質問** 本市では、待機児童はゼロであるとのこと。これまでの説明にあるが、実際には、地域の保育園に入れず順番待ちが発生し、生活圏内で保育所に預けられないために入所待ちをしている世帯がある。こうした市民ニーズが満たされない状況をどのように認識しているのか。共働き家庭やひとり親家庭などは、子どもを保育園に預けなければ生活に支障をきたす。移住定住を促進する上でも、転入される子育て世帯にとっては、希望園に入所できることが本市を選ぶ大きな要素となる。市の対応はいかに。



うみべのもり保育所

**Q** 新しい水道ビジョンが必要ではないか  
**A** 今年度中には一定の方向性を出す



創政クラブ議員団 高橋 秀 策

**質問** ①水道料金は家事用と事業用の区分をなくした口径別従量制が望ましいと発言してきたが、今後の料金の方向性は。②料金改定が、市民に大きな影響を与えないよう、費用削減が必要でそのためにも民間委託や広域化の取り組みを進めるべきであるが、その中身と効果について尋ねる。③今後も引き続き安全で良質な水道水を将来にわたって、安定的に供給していくためには、新しい水道ビジョンが必要であるが、どのような取り組みをしていくのか。



舞鶴市桂貯水池の清水

**答弁** 保護者が希望する特定の園が、申請時点で受入可能園児数

**答弁** ①格差解消のため事業用に少量使用者向けの新しい区分を設け



令和元年9月17日、18日に本会議を開き、14人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問



拡幅が待たれる大山中田線の避難道路

**質問** 原子力防災の観点から公明党議員団として、国・府等へ避難道路のインフラ整備の必要性を訴える中、本年2月の第198回通常国会「資源エネルギーに関する調査会」で、熊野正士参議院議員が本市における避難対策について質問されるとともに、7月には、内閣府専門官が本市を視察されたことから、

事に対し脆弱な避難路の改良、拡幅などのインフラ整備にさらなる支援を要請した。11月には、国に対し、PAZを有する自治体の長として、地域住民の不安解消に向け、避難路整備のさらなる充実を強く要望する。

改めて、複合災害により孤立する可能性のある地域の実態についてお伝えした。また、対策としてトンネルを含めた避難道路整備の必要性も強くお伝えした。市として、強く国・府に働きかける必要性について問う。

**答弁** 市長が先頭に立って、国・府に対して要望を行ってきた。今年度も8月28日に、知事に対し脆弱な避難路の改良、拡幅などのインフラ整備にさらなる支援を要請した。11月には、国に対し、PAZを有する自治体の長として、地域住民の不安解消に向け、避難路整備のさらなる充実を強く要望する。

**Q** 原子力防災の観点で国・府への働きかけを避難路整備のさらなる充実を強く要望する

**A** 改めて、複合災害により孤立する可能性のある地域の実態についてお伝えした。また、対策としてトンネルを含めた避難道路整備の必要性も強くお伝えした。市として、強く国・府に働きかける必要性について問う。



公明党議員団 松田 弘幸

**Q** これからの舞鶴市消防団の在り方はひとつの市の中に20もの団があり、それぞれが地元地域を守る体制をとっている。近年人口減少や、生活形態などの変化により団員の確保が非常に困難な状況で、現在は条例定数1380人に対し登録団員数は1050人、充足率は76%である。今後は市内それぞれの消防団が、団としての活動が困難となる状況から、舞鶴市をひとつの消防団として活動する体制（小団制から大団制）を整えるべき時期にあると考えるが市の見解を問う。

**A** 舞鶴市の消防団は全国的にも珍しいひとつの市の中に20もの団があり、それぞれが地元地域を守る体制をとっている。近年人口減少や、生活形態などの変化により団員の確保が非常に困難な状況で、現在は条例定数1380人に対し登録団員数は1050人、充足率は76%である。今後は市内それぞれの消防団が、団としての活動が困難となる状況から、舞鶴市をひとつの消防団として活動する体制（小団制から大団制）を整えるべき時期にあると考えるが市の見解を問う。



新政クラブ議員団 上野 修身

**答弁** 毎年のように全国各地で地震、台風、大雨等の大規模災害が発生する中、消防団の必要性、重要性は広く国民に認められている。本市においても、団員数は年々減少する中、今後の人口減少や市民の生活様態、社会情勢、意識の変化などを見据え、舞鶴市内に一つの消防団とする体制についても消防団長会議や各消防団とのヒアリングの機会などを捉え、検討を進めている。



地区防災の要 消防団

**Q** 鳥獣被害防止に係る事業費の増額は捕獲頭数の増加は必要に応じ補正で対応

**A** 鳥獣被害防止に係る事業費の増額は捕獲頭数の増加は必要に応じ補正で対応



日本共産党議員団 石束 悦子



希望ある農業を

**質問** 鳥獣に農作物を荒らされ、メッシュ等の修繕費用がかさむ予算を増額すべきでないか。クマの出没で、市民は困っているがその対策は。

**また、農業の振興のために、米直接支払金制度の復活などを国や府に要望し、市独自でも支援すべきでは。**

**答弁** 鳥獣の捕獲経費は、必要に応じ補正で対応している。ツキノワグマの対策は、府と連携し、有害個体捕獲の実施などの対策を

**質問** 綾部中学校では、給食を自校方式に変えて「生徒が準備、片付けをし、残食がない。」と聞く。本市でも自校方式で温かい給食にしてはどうか。

**答弁** 中学校給食の導入は、中学校給食推進懇話会で検討しスクールランチ方式を進めてきた。自校方式は整備費用に1校1億5千万〜2億円必要。同じ方式で続ける。

講じている。また、米直接支払交付金に係る復活の要望はしない。水田活用への産地交付金で特産品への支援を行っている。

**Q** 自校方式で温かい給食を

**A** スクールランチ方式続ける

一般質問

令和元年9月17日、18日に本会議を開き、14人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

**Q** 舞鶴で活躍してもらう受け皿づくりは  
**A** 若者が活躍できる基盤づくりを目指す



新政クラブ議員団  
仲井 玲子

**質問** ーT技術を身に付けた若者など市内で育てた人材が市外に流出することが懸念されるが、舞鶴で育った人材に舞鶴で活躍してもらうための受け皿づくりについて問う。

**答弁** 市内外の企業等と連携した交流の促進などを継続・強化することにより、新たな産業の創出などによる市内産業の活性化とこの舞鶴で育った若者がこの舞鶴で働き、活躍することのできる基盤をつくることで、持続可能な社会を目指す。

想」により、このたび軽音楽コンテストが舞鶴で開催されたことを大いに評価する。今後とも音楽のまちとしてさらなる発展を期待する中で、音楽家には選ばれたまちとして、総合文化館の音響照明設備や、音楽合宿の考え方について問う。

**答弁** 総合文化館の機材整備は、利用者のニーズを把握しながら検討していく。ミュージックコミッション事業を通じ音楽イベントや合宿の誘致を図る。

**Q** パーム油発電に伴う環境破壊の認識は  
**A** 環境に配慮されたものと聞いている



日本共産党議員団  
小杉 悦子

**質問** 燃料となるパーム油増産のため、生産国の森林破壊、泥炭湿地林の農園開発で、土壌から二酸化炭素や温室効果ガスが大量に発生するなど、問題山積の日本最大規模のパーム油発電所建設計画。市の認識を問う。

**答弁** 国において再生可能エネルギーと位置付けられており、パーム油については、国際認証を受けたもので、環境への影響に配慮されたものと聞いている。

の影響や健康被害などが発生している。「発電所建設には不安がある」という意見は聞いてもらえないのか。この住民の声にどう対応するのかを問う。

**答弁** 事業者からはさまざまな対策が講じられると聞いているので、住民の皆さんの不安が解消されるよう、説明の徹底については、再度の説明会の実施や個別の対応も含め、事業者に求めていく。

**Q** LNG基地の誘致を問う  
**A** 国や京都府に対し要望していく



新政クラブ議員団  
今西 克己

**質問** 舞鶴港は関西圏という需要後背地を有するとともに、アクセスの良さや港湾施設を有し、北近畿唯一の重要港湾の指定を受けると非常にポテンシャルの高い港である。南海トラフ巨大地震の被災リスクが低く、リダンダンシー機能、国土強靱化・京都府北部発展の観点から、LNG基地を誘致すべきではないか。

**答弁** 北近畿エネルギー・セキュリティインフラ整備研究会の提言を踏まえ京都府と密

に連携を図りながら誘致実現に向け積極的に取り組むとともに、日本海側国土軸の形成やリダンダンシー確保の観点から国や京都府に対して要望していく。

**Q** 浮体式LNG基地の考えは  
**A** 一長一短がある

**質問** 浮体式LNG基地は、陸上基地と比較すると、導入の初期費用や機動性の点で勝りエネルギーミックスや周辺ガス市場の活性化にもつながる。設置撤去の柔軟性があるが市の考え方を問う。

**答弁** 初期投資が抑制される反面、ランニングコストがかさむ。メリットとデメリットがあるものと考えている。

**Q** 総合文化会館の設備は  
**A** 利用者のニーズを把握する



第1回近畿北陸軽音楽コンテスト

**質問** 既に稼働している福知山市では、騒音・臭い・煙で環境へ



バイオマス発電所建設予定地



LNG基地のイメージ図

令和元年9月17日、18日に本会議を開き、14人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

## 一般質問



危機を乗り越えた小さな命

**質問** 本市に暮らす「医療的ケア児」の漏れることのない把握と必要な支援が求められている。毎回議会で早急な対応をお願いしてきたが進展がない。頼れる行政であるために根本的な組織改革を提案する。今後、増加複雑化する「医療的ケア児」の支援には専門的な担当部署の整備が必要では。

**答弁** 当事者の立場に立ち横断的に切れ目なく企画実施していくためには、専門的かつ

**答弁** 豊かな育ちにつながるニーズへの対応は重要。個々の状態に対応できるよう安全を最優先に確保し、的確な体制づくりを行う必要があることから一定の期間を要する。

総合的に推進できる人材確保と体制の確立が必要。次年度に向けて体制づくりを検討する。

**質問** 「医療的ケア児」の保育園通園希望を実現できないか。京都府北部の小児科医療の充実した本市である。福祉・教育・地域連携のしやすいこの環境こそ通園事業への取り組みができないか。

**答弁** 準備に一定の期間が必要

**質問** 「医療的ケア児」の保育園通園希望を実現できないか。京都府北部の小児科医療の充実した本市である。福祉・教育・地域連携のしやすいこの環境こそ通園事業への取り組みができないか。

**答弁** 豊かな育ちにつながるニーズへの対応は重要。個々の状態に対応できるよう安全を最優先に確保し、的確な体制づくりを行う必要があることから一定の期間を要する。

**Q** 医療的ケア児支援強化に改革が必要では  
**A** 次年度に向けて体制づくりを検討する



新政クラブ議員 田畑 篤子

**Q** ウズベキスタン訪問団の展示開催を願う  
**A** 語り部活動の中で紹介できないか相談



新政クラブ議員 眞下 隆史



日本人墓地を参拝したウズベキスタン訪問団

**質問** 本年8月に舞鶴市訪問団、市民応援団35名でウズベキスタン共和国を訪問された。日本人抑留者墓地を参拝され、きれいに大切に守りいただいていることに、感謝の気持ちや各人さまざまな思いを感じられたと思う。訪問された方々の感想を伺い、引揚記念館で展示し広く伝えてはと思うが見解を問う。

**答弁** 現在も引揚記念館で、日本人抑留者資料館や日本人墓地などを紹介している。今

**答弁** 今後も引き続き関係団体や民間企業への協力依頼、国際交流員による講座、メディアを通じた情報発信を活用し、積極的に応援団募集に努める。

回の訪問には、多くの語り部の皆さんに参加いただいております。語り部活動の中で思いを紹介いただけるよう相談する。

**質問** 東京五輪のウズベキスタン選手団の活躍には、ホストタウンである舞鶴市が、市民と協働して選手をサポートする必要がある。さらなる市民応援団増加の推進方法を問う。

**質問** 市民応援団の推進方法は積極的に応援団を募集する

**質問** 東京五輪のウズベキスタン選手団の活躍には、ホストタウンである舞鶴市が、市民と協働して選手をサポートする必要がある。さらなる市民応援団増加の推進方法を問う。

### 《今後の放送予定》

11月22日(金) 午後3時から

出演議員:石束悦子議員、鴨田秋津議員、西村正之議員  
放送テーマ:「常任委員会活動報告・市民と議会のわがまちトークの結果報告」  
「議会あれこれ、12月定例会の案内」

12月27日(金) 午後3時から

出演議員:田村優樹議員、田畑篤子議員  
放送テーマ:「12月定例会議案案内(主な議案紹介)」  
「議会あれこれ」



過去の放送内容について詳しくは、ホームページからご覧いただけます。



### これまでの主な放送テーマ

- 「定例会の案内、議案紹介、審査報告」
- 「常任委員会視察報告」
- 「本会議や委員会の傍聴について」
- 「議場の中の様子などについて」
- 「舞鶴市議会のホームページ紹介」
- 「行政視察の受入状況について」など

舞鶴市議会では、毎月1回、FMまいづるの「ななこちゃったラジオ」(午後3時から、再放送は午後5時から)に議員が出演しています。定例会や委員会視察の報告をはじめ、議会の仕組みや議員の活動についても話していますので、ぜひお聴きください。



FMまいづるに出演していきます

# 意見書、政治家からの寄附行為禁止、12月定例会予定、編集後記

## 意見書

9月定例会では、「国民健康保険の国庫負担拡充と子どもに係る均等割額の負担軽減を求める意見書」1件を可決しました。その主な内容は次のとおりです。

国民健康保険制度は、国民皆保険制度の根幹として、地域住民の健康保持増進に重要な役割を果たしているが、加入者には高齢者や低所得者が多いことなど、国民健康保険事業を取り巻く財政運営状況は非常に厳しくなっている。

国においては、平成30年度制度改革以降、毎年公費3400億円を投入するとされているものの、国民健康保険制度の構造的問題に起因する保険料の大幅な増加の抑制には充分であるとは言えない。また、子ども医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整

措置については、平成30年度から未就学児を対象とする減額調整措置を行わないこととするなど、少子化対策、子育て支援等の拡充が進められている一方、均等割は、子どもの数に応じて増加するため、子育て世帯にとって負担が大きく、国や自治体が推進する少子化対策や子育て支援施策と相容れないものとなっている。

よって、国及び政府において、国民健康保険制度の安定運営及び子育て支援の観点から、次の事項を早期に実施されるよう強く要望する。

- 1 国保財政基盤の強化のため、公費の財政支援について継続して実施するとともに、更なる公費拡充を図ること。
- 2 子育て世帯の負担軽減を図るため、国民健康保険の子どもに係る均等割額を軽減する支援制度を創設するとともに、必要な財源を確保すること。

## 政治家からの寄附禁止

選挙の有無に関わらず、政治家が選挙区内の人に寄付を行うことは、名義のいかんを問わず特定の場合を除いて一切禁止されています。有権者が求めてもいけません。

また、冠婚葬祭における贈答なども寄付になります。市民の皆さまのご理解、ご協力をお願いします。

総務省のホームページに「選挙・政治資金」について掲載されております。このコードからご覧いただけます。



### 例



## 12月定例会予定

- 11月
  - 28日(木) 本会議(開会)
- 12月
  - 5日(木) 請願受理締切
  - 10日(火) 本会議(一般質問)
  - 11日(水) 本会議(一般質問、質疑)
  - 12日(木) (本会議(一般質問、質疑)予備日)
  - 16日(月) 予算決算委員会分科会・常任委員会
  - 17日(火) 予算決算委員会分科会・常任委員会
  - 20日(金) 予算決算委員会
  - 26日(木) 本会議(閉会)



※一般質問が11日に終了する場合は、12日の本会議は開催されません。  
※予定は変更することがあります。

## 編集後記

「まいづる市議会だより」をご愛読いただいている皆さま、そして今回初めてご覧いただいた皆さま、お読みいただきまして誠にありがとうございます。第20期舞鶴市議会1年目の現メンバーによる「まいづる市議会だより」発行は、No.165を持ちまして最後となりました。この市議会だよりの発行には、毎定例会の審査・結果内容を含めた議会活動全般にわたる記事を掲載し、市民の皆さまに広報することで、少しでも議会の仕組みや活動内容がご理解いただけるよう、内容の充実に努めてまいりましたが、皆さまは「まいづる市議会だより」をどのように感じておられるのでしょうか。

今回から市民の皆さまにご参加いただいた記事の掲載に努めていくこととしました。今後も「読みやすく・分かりやすく・興味があふれる広報紙づくり」を目指して編集してまいりますので、引き続きのご愛読をよろしく願っています。

(真下 隆史 副部長)



【議会報編集委員会】  
 部長 谷川 眞司  
 副部長 眞下 隆史  
 委員 伊田 悦子  
 委員 肝付 隆治  
 委員 小谷 繁雄